

長崎歴史文化博物館  
Nagasaki Museum of History and Cultureプレスリリース  
News

No. 03

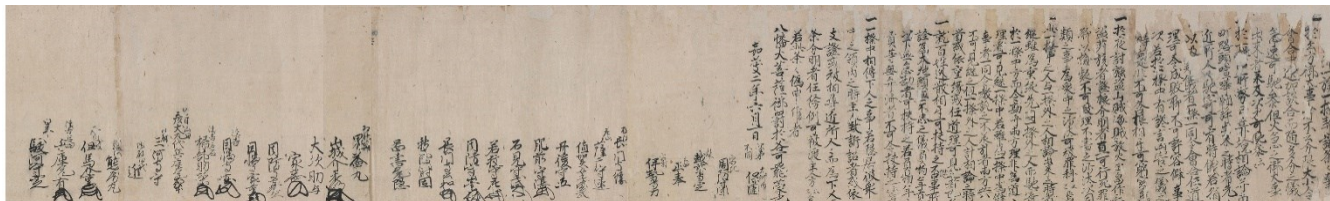
あお かた もんじょ  
特集展示「青方文書展」

長崎歴史文化博物館は、令和6年度新たに国の重要文化財に指定される『青方文書』のミニ企画展「特集展示」を開催します。ぜひ、取材・情報掲載のほど宜しくお願いいたします。

青方文書(あおかたもんじょ)は、長崎県五島列島中通島の青方(現・新上五島町青方)の在地領主であった青方氏に伝来した史料群です。本展示では、鎌倉時代から戦国期に至る中世を中心に作成された文書18点を公開します。

青方氏は、鎌倉時代初期に幕府御家人となった一族であり、南北朝以降は松浦党(まつらとう)の一員として活躍し、江戸時代には五島藩の家老職を務めていました。文書の内容は、青方氏一族の所領をめぐる訴訟に際して作成された文書、異国警固番役(いこくけいごばんやく)などの勤務記録、鎌倉時代後半に中国大陸に輸出された品目の注文、国人一揆が百姓支配などに関して協力することを誓約した契状(けいじょう)など多岐にわたり、多くの研究で利用されています。

本文書は、青方氏一族の史料が鎌倉時代以降まとまって伝来し、豊富な内容を持つという点で学術的価値が高く、西国武士研究や海事史・対外交渉史研究上大変重要なものです。鎌倉幕府の訴訟制度や地方武士団の存在形態、南北朝期から室町期にかけての国人一揆(こくじんいっき)の実態を知る史料として、また中世の漁業関係史料等として、質・量ともに日本国内にも類例の少ない貴重な中世文書群です。



「下松浦住人等一揆契諾状」嘉慶2年(1388)年6月1日 30×233cm(部分)

下松浦一帯の住人による一揆契諾状の内容は、まずは將軍のために団結して忠節を尽くすことが掲げられ、続いて一揆のメンバー間のトラブルへの対応、特に領内の百姓が逃散(ちょうざん・集団で脱走)した場合など、具体的な取り決めがなされています。

## 特集展示 青方文書展

会期 2024年4月24日(水)～6月16日(日) ※5月7日(火)・20日(月)、6月3日(月)休館  
会場 特集展示室(2階常設展示室内)  
開場時間 8:30～19:00(最終入館30分前まで)  
観覧料 常設展観覧料でご覧いただけます(大人630円、小中高生310円)  
※県内小中学生、長崎れきぶん友の会、キャンパスメンバーズは無料  
※5月5日(日)子どもの日、18日(土)国際博物館の日は県内在住者無料

長崎歴史文化博物館  
Nagasaki Museum of History and Culture公式ホームページ <http://www.nmhc.jp/>  
(SNS) Facebook <https://www.facebook.com/rekibun/>  
Instagram <https://www.instagram.com/rekibun/>  
X (Twitter) [https://twitter.com/ngs\\_rekibun/](https://twitter.com/ngs_rekibun/)